

2011年度「教養特別講義2」について

村井早苗

「教養特別講義2」の内容は、2009年度より再編されました。本学の建学精神は、女子を[人として、婦人(女性)として、国民として]教育することであり、そして教育理念は「信念徹底」、「自発創生」、「共同奉仕」の創立者成瀬仁蔵が晩年に述べた三綱領であります。このような精神や理念を基盤として、現代を生きる女性のキャリアを十分に伸ばすという視点をさらに強調した内容に再編され、本年度もこれが継承されています。

講演者の選出は、前年度の教養特別講義2委員会が行い、交渉にあたります。学生委員、現代女性キャリア研究所、教養特別講義2委員の推薦する講師候補者の中から選出・交渉し、少しでも推薦者の要望に応えるために努力するわけですが、この作業は毎年のことながら難航をきわめます。しかし本年度も、例年のように学内外のあらゆる分野で活躍されている方々をお招きすることができました。その顔ぶれは、医師、ジャーナリスト、テレビ局デスク、大学教員、国連関係者、ボランティア活動者、政治家など、まさに多彩な方々です。また本学出身者も含まれており、ロールモデルともなると思います。このような方々の講演を聴く機会を与えられた学生は、その幸福を十分に認識して、多くを学んで欲しいと切に願っています。

本年は3月11日の東日本大震災により、被災された方々は勿論のこと、私たちは大きな衝撃を受けいろいろ考えることも多かったと思います。「教養特別講義2」でも講演者の方と連絡がつかなくなったりしましたが、現在、何とか実施されています。また本年より、現代女性キャリア研究所より推薦していただく課題図書が大幅に変わりました。学生が入手しやすいように委員会でも配慮しましたが、学生も入手するように努力してください。

学生は折角与えられた機会ですから、十分にこれを活用し、積極的に教養特別講義2に参加してほしいと望んでいます。

(むらい さなえ 文学部史学科教授)